

サーバーマシンを入れ替えられる方へ

《Mercury-LAVIS のデータ・設定の移行手順》

旧サーバーマシンから→新サーバーマシンへの移行の流れ

1. ご利用中のパソコンでインストール方法を確認します



- スタンドアロン
- サーバークライアント

2. 新しいパソコンに、データ・設定を移行します



- データ・設定のバックアップ
- プログラムのインストール
- データ・設定のリストア（復元）

Mercury-LAVIS のインストール方法の種類と確認方法

インストール方法の種類

Mercury-LAVIS のインストール方法には、以下の2種類があります。
ご使用になる環境に合ったインストール方法を選択してください。

スタンドアロン

すべてのファイルを、1台のコンピューターにインストールします。

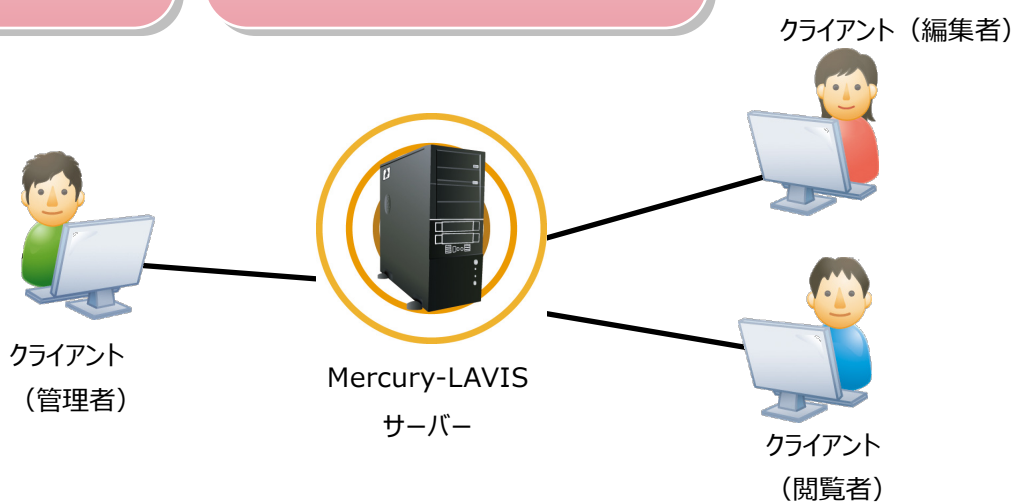
1台のコンピューターで、地籍データを編集します。



サーバークライアント

地籍データをサーバーで管理します。

複数のクライアントで地籍データを編集します。



インストール方法の種類の確認方法

ご利用中のMercury-LAVISの「インストール方法」を確認します。

インストール方法によって、現場データのバックアップ・リストアの手順が変わります。

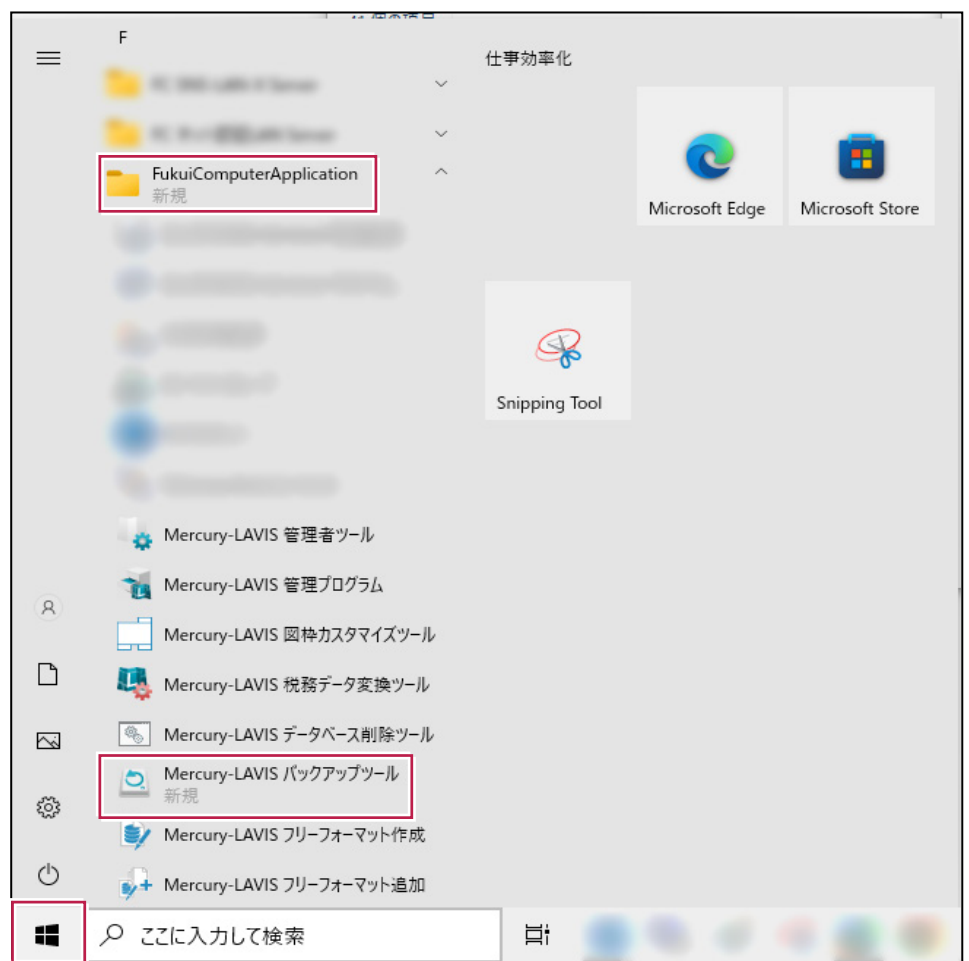
- 1 Mercury-LAVIS サーバーをインストールしたサーバーマシンのデスクトップ上に
・Mercury-LAVIS バックアップツール
があるか、ないか



- 2 スタートメニューにて
[FukuiComputerApplication] —
[Mercury-LAVIS Ver.〇 バックアップツール]
があるか、ないか

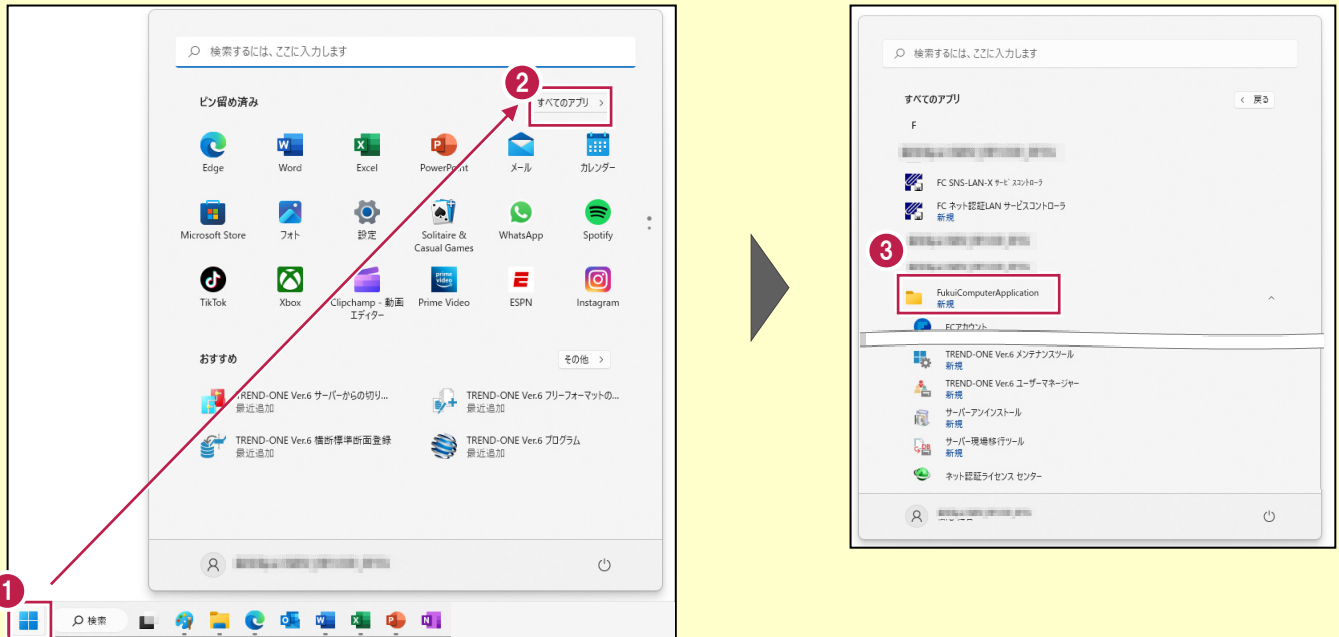
ある場合→サーバークライアント

ない場合→スタンドアロン

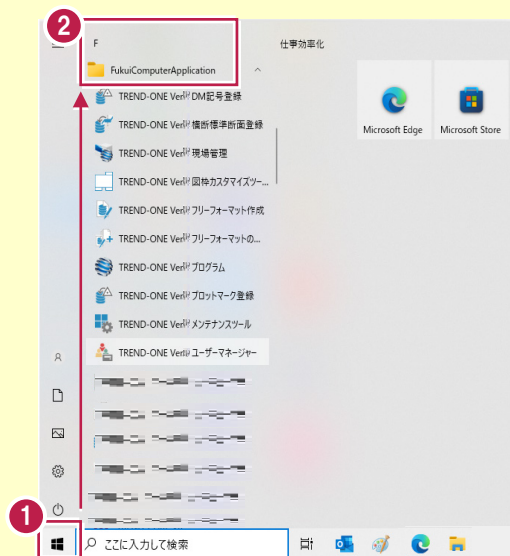


【補足】 スタートメニューから [FukuiComputerApplication] を確認する手順

● Windows11の場合



● Windows10の場合



新しいサーバマシンへの、データ・設定の移行の流れ

サーバクライアント用



旧サーバマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除

新サーバマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ プログラムの起動
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバーの参照先変更

サーバクライアント用



旧サーバマシンでの作業

- ① データ・設定のバックアップ
- ② ライセンスの解除



旧マシンでの作業

1

データ・設定のバックアップ

まず、旧パソコンのMercury-LAVISで、「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータをバックアップします。

1-1 地区データをバックアップする

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をバックアップする手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

1-1. 地区データの一括バックアップ（Ver.4以降）

※ Ver.4以降は、地区データの一括バックアップが可能です。

1-2. サーバーツールによる地区データの一括バックアップ

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括バックアップすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [地区（一括）] をクリックします。



2 [地区の一括バックアップ] ダイアログが表示されます。

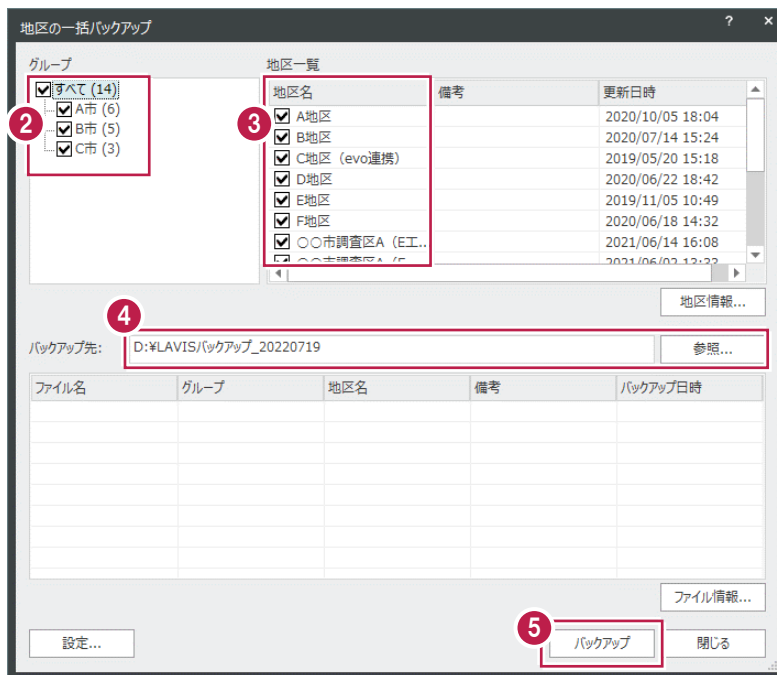
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

3 [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

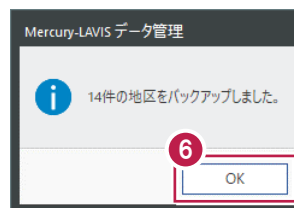
4 [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

5 [バックアップ] をクリックします。
一括バックアップが開始されます。

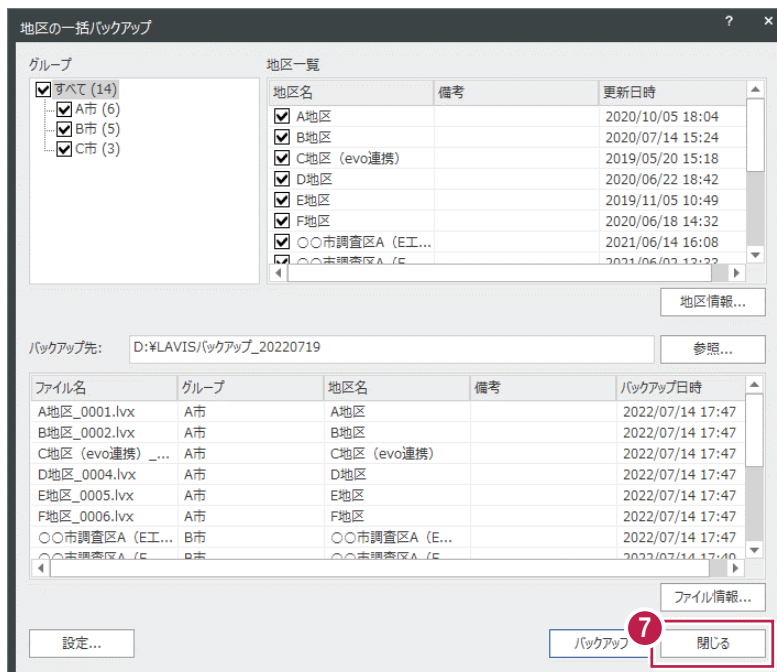
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



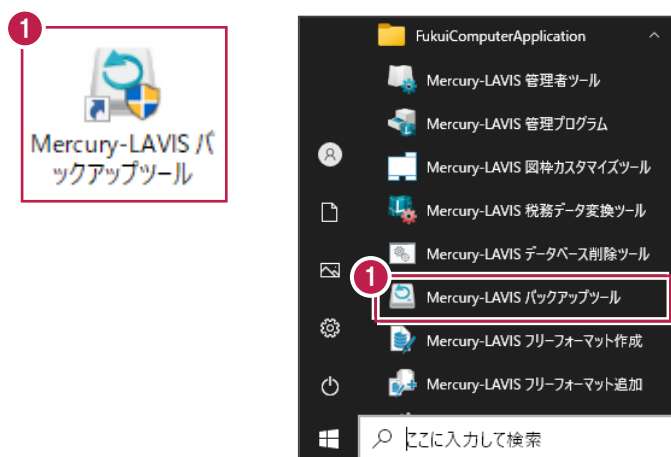
7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-2 サーバーツールによる地区データのバックアップ^① (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

- ① デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] - [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。



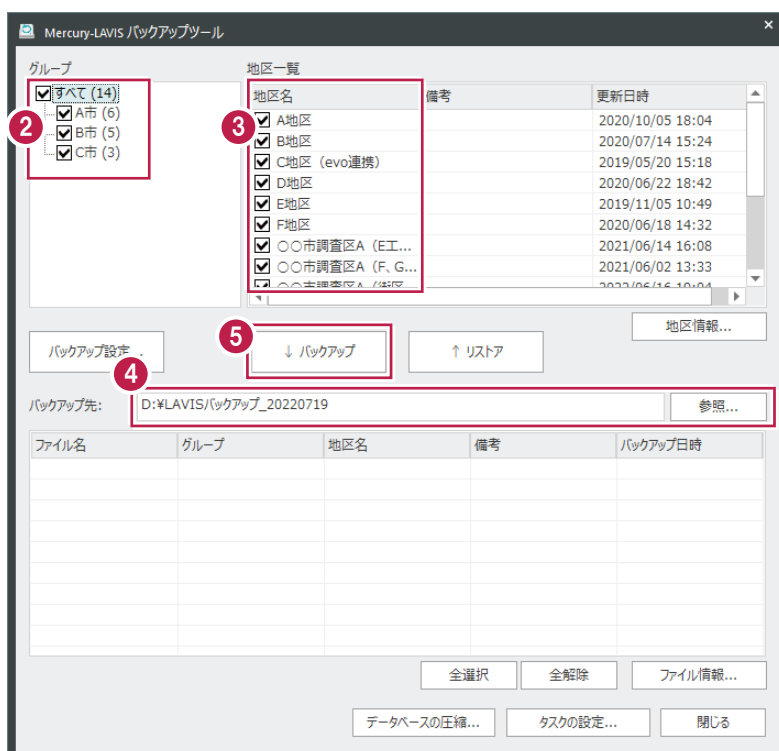
- ② 「バックアップツール」が起動します。
[グループ] で、バックアップするグループのチェックを ON にします。

- ③ [地区一覧] で、バックアップする地区のチェックを ON にします。

- ④ [参照] をクリックして [バックアップ先] を指定します。

- ⑤ [バックアップ] をクリックします。
バックアップが開始されます。

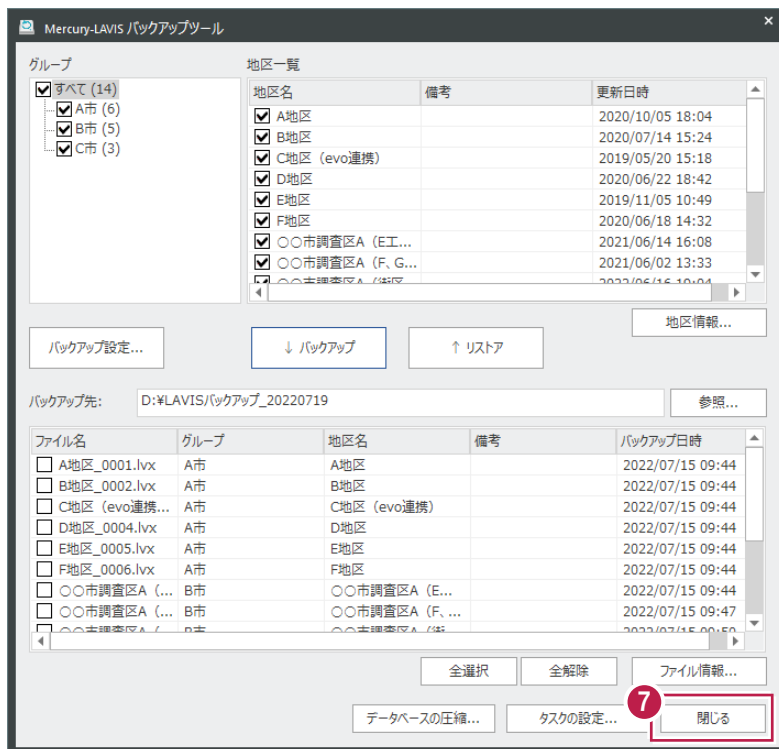
※ バックアップするデータによっては、時間がかかる場合があります。



6 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



7 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-3 全設定のバックアップ

各種設定やマスターファイル、レジストリをバックアップする手順です。
各種設定やマスターファイルのバックアップファイルの拡張子は「.lvm」です。
レジストリのバックアップファイルの拡張子は「.lvg」です。

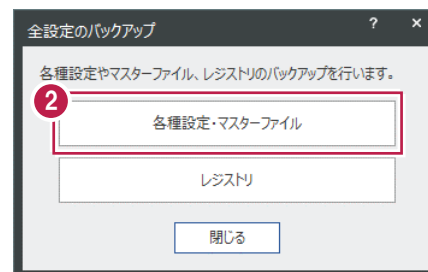
※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定バックアップ] ダイアログが表示されます。

[各種設定・マスターファイル] をクリックします。



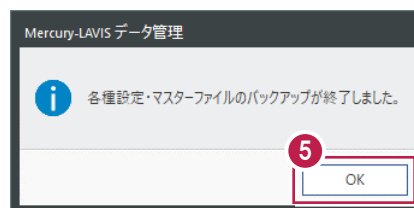
- 3 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 4 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 5 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 6 [レジストリ] をクリックします。



- 7 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 8 [保存] をクリックします。
バックアップが開始されます。



- 9 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



- 10 [閉じる] をクリックして、終了します。



1-4 ユーザー定義帳票のバックアップ

ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「CustomForm」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の帳票ファイルが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvf」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [バックアップ]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。



- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

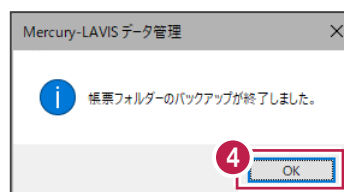
保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。



1-5 相続関係図のバックアップ

「相続関係図プログラム」のデータをバックアップする手順です。

Mercury-LAVISのデータフォルダー内の「InheritData」フォルダー内のファイルがバックアップされます。

複数の相続関係図データが1つのファイルに圧縮されます。

バックアップファイルの拡張子は「.lvi」です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図]
- [バックアップ] をクリックします。

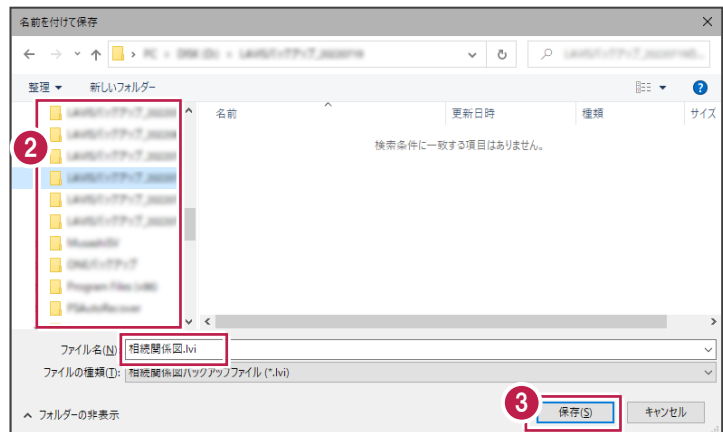


- 2 [名前を付けて保存] ダイアログが表示されます。

保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [保存] をクリックします。

バックアップが開始されます。



- 4 バックアップが完了したら、[OK] をクリックします。





旧マシンでの作業

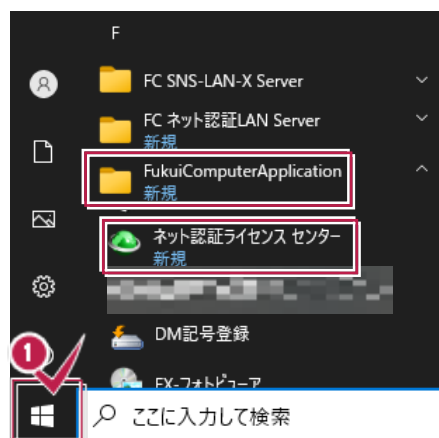
2 ライセンスの解除

旧パソコンで使用している「ライセンス」を解除します。
ライセンスを解除しないと、新パソコンでライセンスを認証することができません。

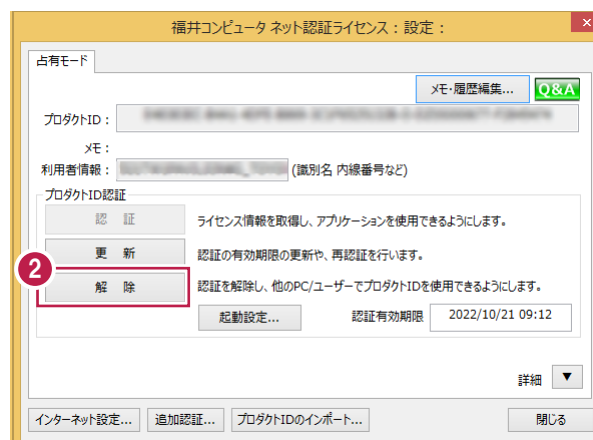
2-1 ネット認証ライセンス（占有）を解除する

- 1 画面右下のタスクバーの通知領域にある、「FC ネット認証ライセンスセンター」のアイコンをクリックします。

もしくは、スタートメニューから、
[FukuiComputerApplication] -
[ネット認証ライセンスセンター] を起動します。



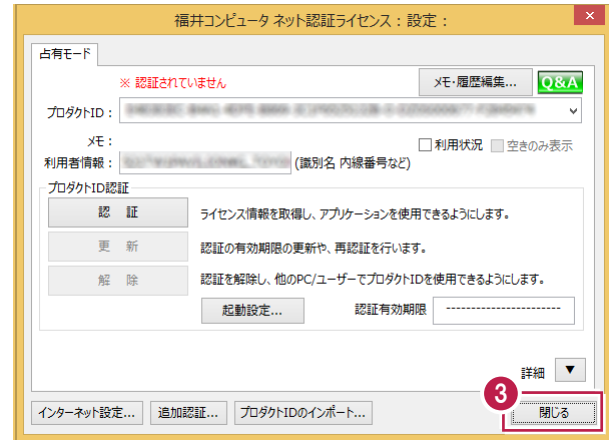
- 2 ネット認証ライセンスの「設定」画面が表示されます。
[解除] を押すとネット認証が解除されます。





③ [閉じる] をクリックして画面を閉じます。

以上で、「ネット認証ライセンス（占有）の解除」は完了です。

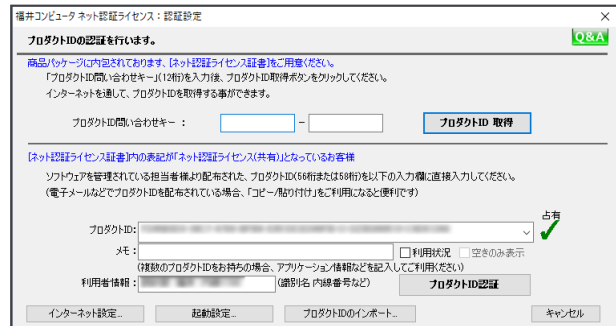


補足

ネット認証ライセンスセンターのアイコンが右図のように黒くなっている場合は、ライセンスは「解除」済みです。



また、ネット認証ライセンスセンターを起動したときに右図のように [認証設定] の画面が表示された場合は、ライセンスは「解除」済みです。



サーバクライアント用



新サーバマシンでの作業

- ③ FC アカウントのインストール
- ④ Mercury-LAVIS のインストール
- ⑤ ライセンスの認証
- ⑥ データ・設定のリストア（復元）
- ⑦ セキュリティソフトの除外設定
- ⑧ サーバの参照先変更



新マシンでの作業

3

FC アカウントのインストール

新パソコンに、Mercury-LAVISの最新プログラムをダウンロードするのに必要な「FCアカウント」をインストールします。

3-1 FCアカウントをダウンロードしてインストールする

弊社WEBサイトから、「FCアカウント」をダウンロードしてインストールします。

※コンピューターが再起動されますので、実行中のアプリケーションは、全て終了させておいてください。

- 1 インターネットの検索サイトで、「FC アカウント」を検索します。



- 2 検索結果の「FC アカウントご利用案内 | 福井コンピュータグループ」をクリックします。
検索結果に表示されない場合は、以下のアドレスを直接ブラウザに入力してください。

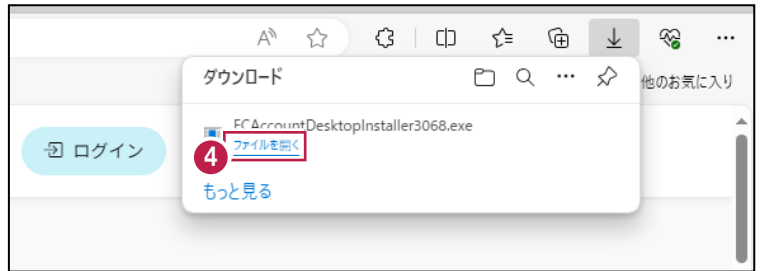
<https://hd.fukuicompu.co.jp/fc-account/info.html>



- 3 「FC アカウントをダウンロード」をクリックします。



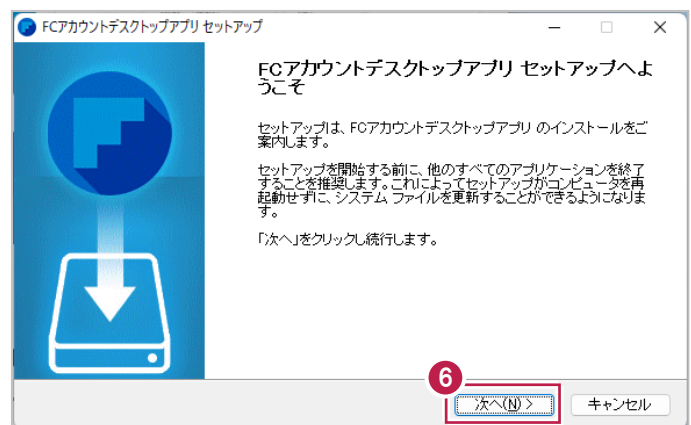
- 4 ファイルのダウンロードの画面が表示された場合は、「ファイルを開く」を押します。



- 5 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「はい」をクリックします。

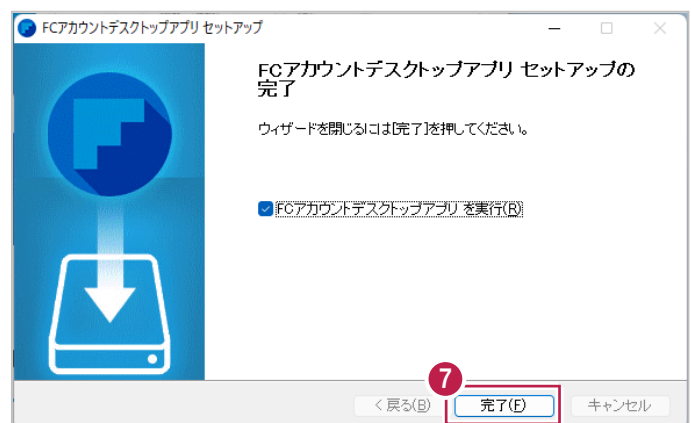


- 6 FC アカウントのセットアップが開始されます。
画面にしたがって、セットアップをおこなってください。



- 7 インストールが完了したら、「完了」をクリックします。

※ [FC アカウントデスクトップアプリを実行] がオンの状態で「完了」をクリックすると、自動的に FC アカウントのデスクトップ版が起動されます。



※ FC アカウントのデスクトップ版をインストールすると、デスクトップに FC アカウントを起動するアイコンが登録されます。



※ インストールしたデスクトップアプリ版で、FC アカウントを登録して製品をインストールします。

8 FCアカウントデスクトップ版で次の画面が開きます。「次のステップへ」を押します。

※ 他のパソコンで FC アカウントを登録済みの方は、「すでに FC アカウントをお持ちの方はログインへ」よりログインして、「インストール・バージョンアップ」より製品をインストールできます。



9 FC アカウントデスクトップ版を利用するお客様のメールアドレスを入力して、「確認コードを送信」を押します。

[次へ] をクリックして、ユーザー登録をおこないます。



10 入力したメールアドレス先にメールが届きます。メールに書かれているコードを「確認コード」に入力して「コードの確認」を押します。



- 11 「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」
（確認のため2回入力）「姓」「名」を入力し、
利用規約を確認して「利用規約に同意」にチェック
を付け「作成」を押します。

メールアドレスを確認しました。引き続きパスワード、
姓、名を入力して「作成」を押してください。

11

新しいパスワード

パスワードの確認入力

姓

名

利用規約に同意（※ページ下部参照）

作成

< 戻る

- 12 「お客様情報の確認」を押します。

ご利用中の当社製品シリアルから
当社でお預かりしているお客様情報と連携します

12 お客様情報の確認

< HOME

- 13 右記の画面が表示されますので、保守サービス
中をご契約中の場合は「こちら」をクリックします。

シリアルが見つかりませんでした。

当社製品をご使用の際は、一度お試しください。
保守サービスをご契約中の方は「こちら」で当社製品をインストールできます。

13

お客様情報のご照会に関するお問い合わせはこちら

< HOME

- 14 「ユーザーコード」と「製品シリアル」を入力して
「製品を表示する」を押します。

HOME > 保守契約プログラムのインストール

④ 保守契約プログラムのインストール

ユーザーコードと製品シリアルを入力してください。
インストール可能な製品が表示されます。
※ユーザーコードと製品シリアルについては [こちら](#)

14

製品を表示する

※以上で、「FC アカウントのインストール」は完了です。



新マシンでの作業

4

Mercury-LAVIS のインストール

新パソコンにインストールした FC アカウントを利用して、Mercury-LAVIS を新規インストールする手順を解説します。

4-1 全体ファイルの保存

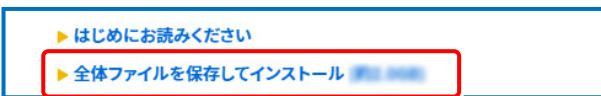
Mercury-LAVIS の全体ファイルをダウンロードして保存します。

※ ご利用の通信環境、時間帯によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。そのようなときは、別の時間帯で再度お試しください。ダウンロードを中止しても、また続きから再開されます。

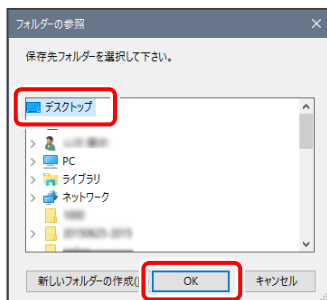
1. 「インストール・バージョンアップ」のページにある Mercury-LAVIS の「インストール」ボタンをクリックします。



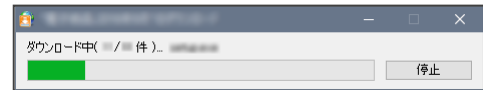
メニューが表示されますので、「全体ファイルを保存してインストール」をクリックします。



2. ダウンロードする全体ファイルの保存先（デスクトップなど）を指定して、[OK] をクリックします。



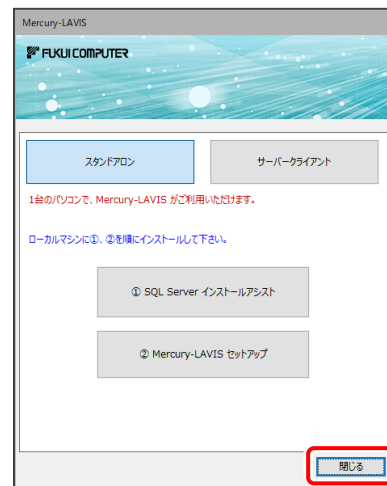
3. ダウンロードが開始されます。



※ ダウンロードを中止する場合は、上記画面で [停止] をクリックしてダウンロードを一時停止してから、右上の [×] ボタンでダウンロードをキャンセルしてください。

4. ダウンロードが完了すると、セットアップ画面が表示されます

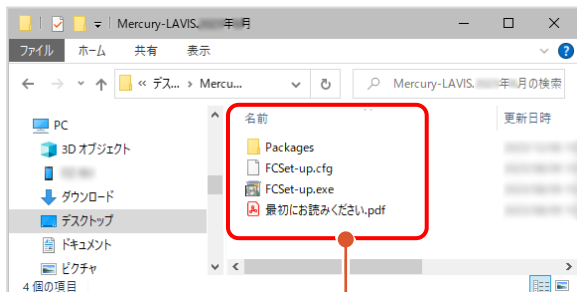
[閉じる] をクリックして画面を閉じます。



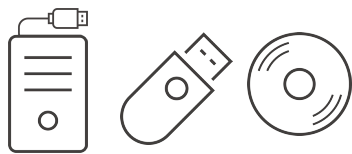
(次ページへ続く)

5. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルを、外付けハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。

(サーバーでダウンロードした場合は、そのままクライアントインストールを実行できますのでDVDやUSBメモリに書き込む必要はありません。)



外付けのハードディスクなど他のメディアにコピーして保存します。



以上で、全体ファイルの保存は完了です。

続いて次ページへ進み、プログラムをインストールします。


(次ページへ続く)

4-2 プログラムのインストール

保存した全体ファイルを利用して、プログラムをインストールします。

ネット認証（占有） + サーバークライアント

「ネット認証ライセンス（占有）」+「サーバークライアント」の、新規インストール手順です。

まずサーバーで

「Step1 | SQLServer インストール」

「Step2 | Mercury-LAVIS サーバークライアント」をおこないます。

次にクライアントで

「Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール」をおこないます。

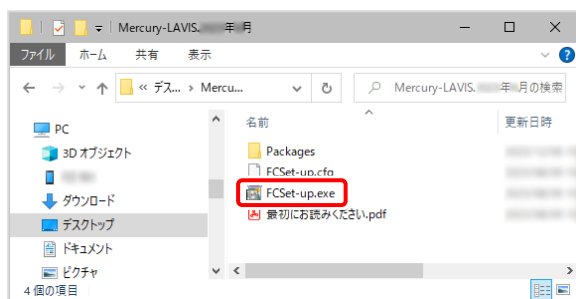
まず、サーバーにプログラムをインストールします

Step1 | SQLServer インストール

1. 全体ファイルをコピーしたメディア（外付けハードディスクなど）を、サーバーにセットします。



2. エクスプローラーなどを利用して、ダウンロードした全体ファイルにある“FCSet-up.exe”を実行します。

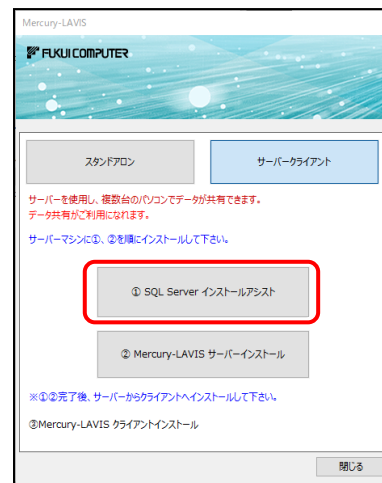


セットアップ画面が表示されます。

「サーバークライアント」タブを選択します。



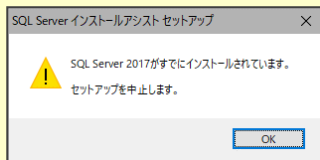
「① SQLServer インストールアシスト」ボタンを押します。



インストールアシストが不要な場合があります

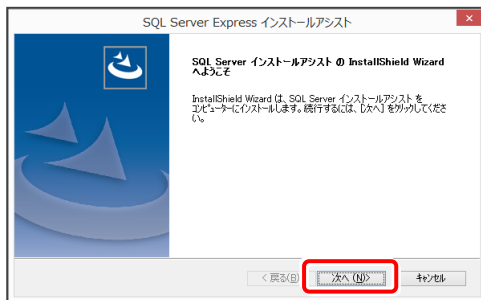
- ※ サーバーに、既に製品版の「SQLServer」がインストール済みの場合は、「インストールアシスト」でSQLServerをインストールしないでください。
「Step2 | Mercury-LAVISサーバーインストール」へ進んでください。
- ※ 「インストールアシスト」でSQLServerをインストールする必要がない場合は、「セットアップ（インストール）を中止します。」とメッセージが表示されます。
「Step2 | Mercury-LAVISサーバーインストール」へ進んでください。

メッセージ例



3. 表示される画面に従って、インストールを進めます。

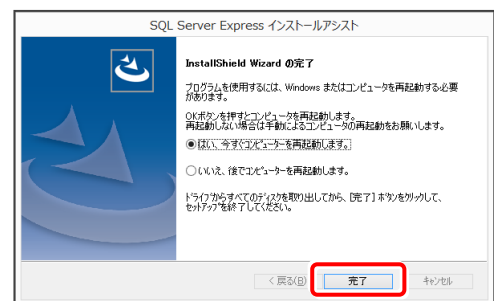
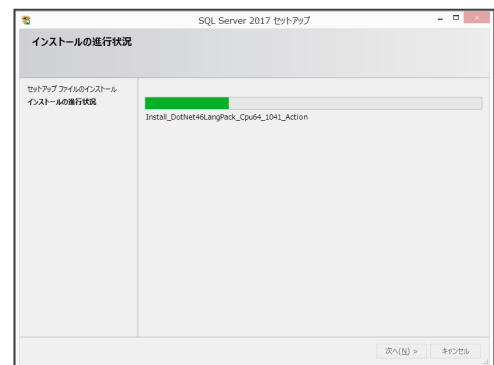
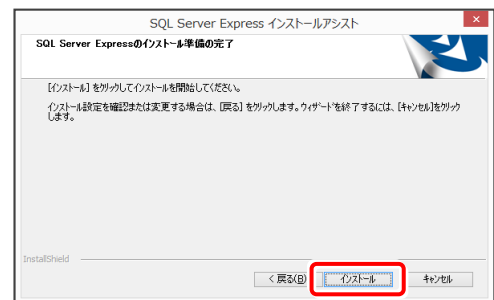
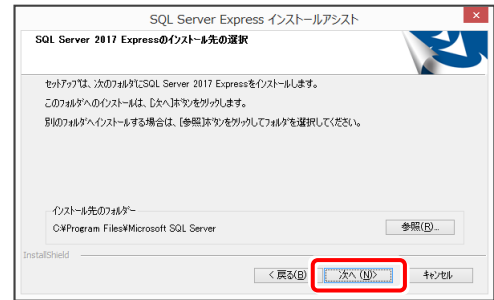
- ※ 画面は、環境によって異なる場合があります。
- ※ インストールには時間がかかる場合があります。



「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択します。



プログラムのインストール先を確認して次へ進みます。



※ 再起動が必要なメッセージが表示された場合は、メッセージに従って再起動してください。

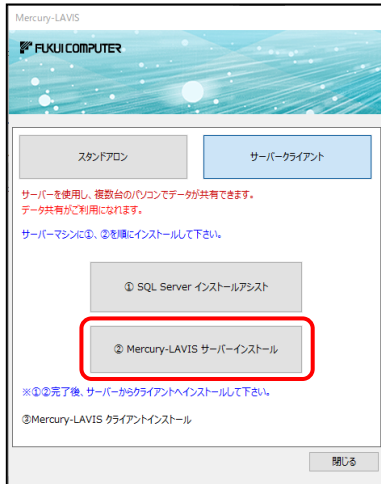
(次ページ「Step2」へ進みます)

Step2 | Mercury-LAVIS

サーバーインストール

1. サーバーで、セットアップ画面の

[② Mercury-LAVIS サーバーインストール]
ボタンを押します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、
[次へ] ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、
[次へ] を押します。



プログラムのインストール先を確認して、
[次へ] を押します。



(次ページへ続きます)

データの保存先を確認して、[次へ] を押します。



「インストール先」と「データ保存先」のフォルダーは「共有フォルダー」になります

サーバーの「インストール先」と「データ保存先」には、「共有フォルダー」が作成されます。
(Everyone フルコントロール)

内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。

プログラムのインストールが開始されます。



インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について] を確認します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、「ウイルスセキュリティソフトの誤認識について」ボタンから表示される資料を参考にしてください。

確認を終えたら、[閉じる] を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



(次ページ「Step3」へ進みます)

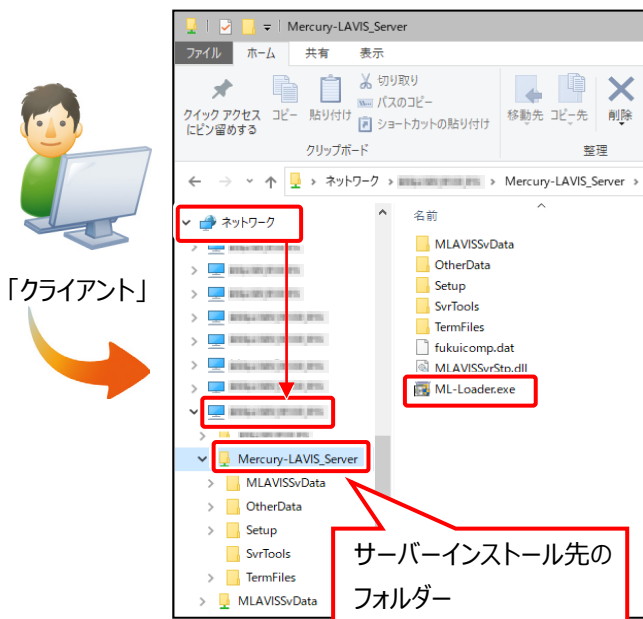
次に、サーバーマシンにプログラムをクライアントインストールします

※これらの操作は、サーバーマシンでも LAVIS プログラム（管理プログラムなど）を使用する場合のみおこなってください。

Step3 | Mercury-LAVIS クライアントインストール

1. クライアントで、エクスプローラーを開きます。

「ネットワーク」をクリックしてサーバーを参照し、サーバーインストール先のフォルダーにある、「ML-Loader.exe」を実行します。



2. インストール環境の確認画面が表示されます。

すべての項目を確認してチェックしてから、「次へ」ボタンを押します。



表示される画面に従って、インストールを進めます。



[上記の全条項に同意します] をチェックして、「次へ」を押します。



(次ページへ続きます)

コンピューターの時計とインストール先フォルダーを確認します。必要があれば、変更してください。



「プロテクト」が「ネット認証ライセンス：(占有)」であることを確認して、[次へ] を押します。



プロテクトが「ネット認証ライセンス：(占有)」以外になっている場合は

「[プロテクト]タイプを変更する」ボタンから表示されるダイアログで、「ネット認証」の「占有」を選択します。



サーバー名を確認して、[次へ] を押します。



内容を確認して、[セットアップ開始] を押します。
プログラムのインストールが開始されます。



(次ページへ続きます)

インストールが終わったら、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]を確認します。

確認を終えたら、[閉じる]を押します。

再起動が必要な場合は、再起動します。



ウイルスセキュリティソフトの誤認識について

ウイルスセキュリティソフトの誤認識により、Mercury-LAVIS が正常に動作しない場合があります。

誤認識を防ぐためには、セキュリティソフト側で「検出の除外」を設定する必要がある場合があります。

「検出の除外」の設定手順については、[ウイルスセキュリティソフトの誤認識について]ボタンから表示される資料を参考してください。

以上で、プログラムの新規インストールは完了です。



新マシンでの作業

5 プログラムの起動

新パソコンでプログラムを起動して、管理者の登録とライセンスの認証をおこないます。

※プロダクト ID の認証時は、インターネットに接続された環境が必要です。

5-1 「管理者ツール」の起動

以前に登録しているユーザーは、バックアップをしても新しいサーバーやパソコンには引き継がれません。

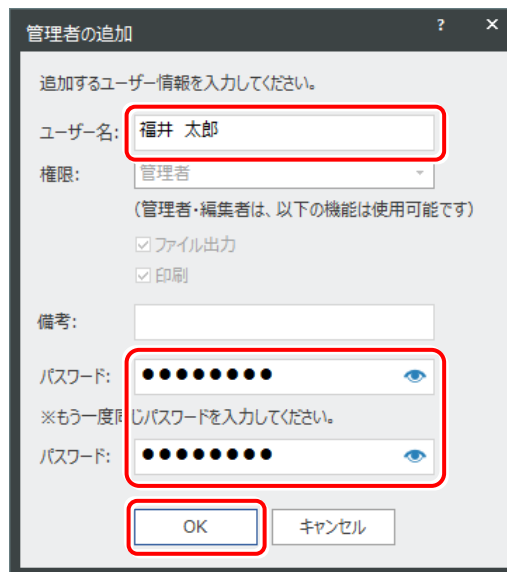
そのため、新しいサーバー/パソコンで「Mercury-LAVIS」を利用するには、まず管理者の方が「管理者ツール」を起動して、管理者や使用するユーザーを登録する必要があります。

(※ 管理者以外の方は、「5-2. 「管理プログラム」の起動」にお進みください。)

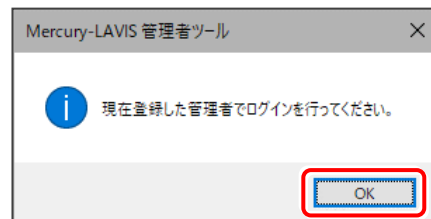
1. デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



2. 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[OK] をクリックします。



3. 確認メッセージの [OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

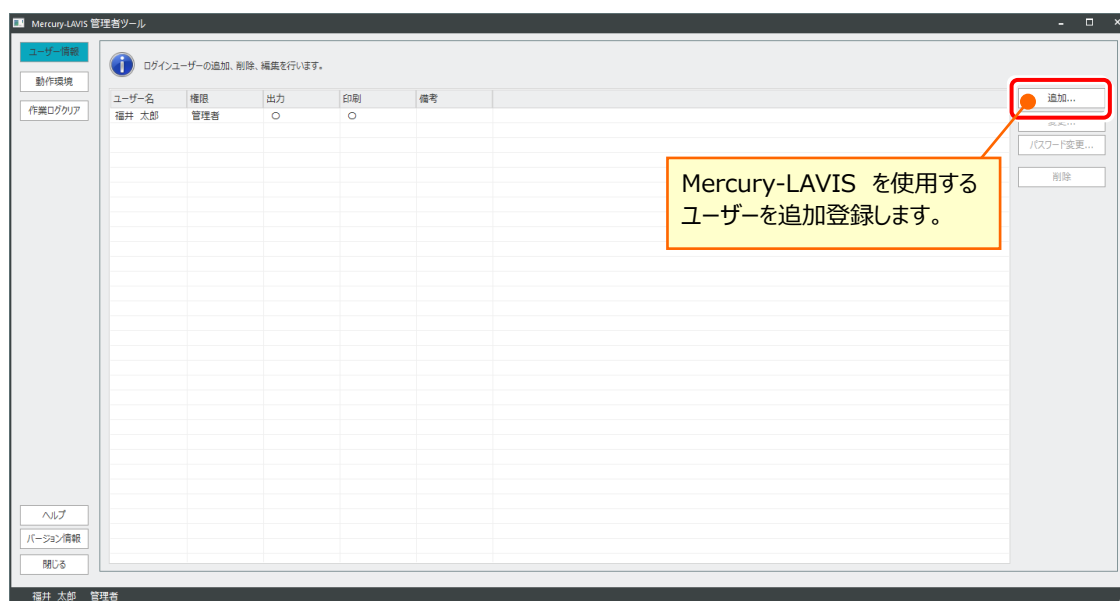
4. 先ほど登録した管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名
福井 太郎

パスワード
●●●●●●●●

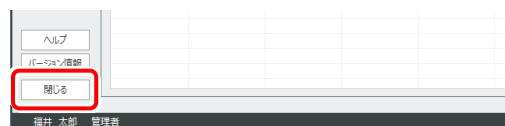
SignIn

5. 「管理者ツール」が起動します。



- Mercury-LAVIS を使用可能なユーザーが、一覧表示されます。
- 複数人で Mercury-LAVIS を使用する場合は、[追加] ボタンでユーザーを追加登録します。
- 「管理者ツール」を起動できるのは、権限が「管理者」のユーザーのみです。

6. Mercury-LAVIS を使用するユーザーの登録を終えたら、[閉じる] をクリックして、「管理者ツール」を終了します。



続いて 次ページ「5-2. 「管理プログラム」の起動」に進みます。

5-2 「管理プログラム」の起動

管理者と仕様するユーザーの登録を終えたら、「管理プログラム」を起動します。

1. デスクトップの「Mercury-LAVIS 管理プログラム」のアイコンをダブルクリックして起動します。
2. ライセンスの確認がおこなわれます。

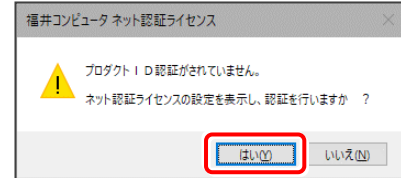


● プロダクトID認証のメッセージが表示された場合

ネット認証ライセンス（占有）を使用する場合は、「はい」を押します。

続いて下記手順を参照し、ネット認証ライセンスのプロダクトIDを認証します。

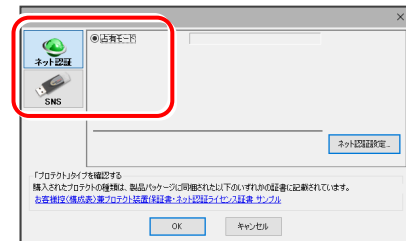
- ※ 認証の際は、インターネットに接続されている必要があります。
- ※ 他のプロテクトを使用する場合は、「いいえ」を押します。



● 「プロテクト設定」画面が表示された場合

使用するプロテクトを選択して、「OK」を押します。

- ※ どれを選択すればいいかわからない場合は、本書の25ページを参照してください。



ネット認証ライセンス（占有）の場合、プロダクトID認証の手順

※ ネット認証ライセンス（占有）のお客様のみ、おこなってください。

「プロダクトID問い合わせキー」を入力して、「プロダクトID取得」ボタンを押します。

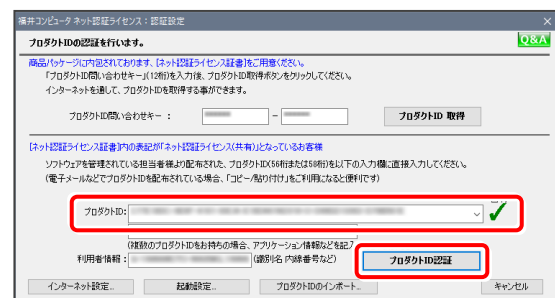
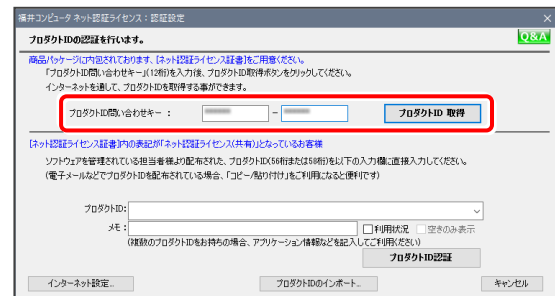
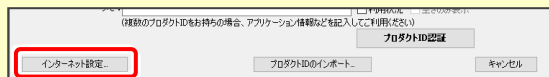
「プロダクトID」が取得されたのを確認したら、「プロダクトID認証」ボタンを押します。

「プロダクトID問い合わせキー」は 6桁+6桁 です。

送付される「ネット認証ライセンス証書（占有）」に記載されています。

重要	本証書は、コンピュータ入れ替えの際などに必要となりますので、大切に保管してください。	出荷日: [日時]
		伝票ID: [ID]
ネット認証ライセンス証書（占有）		
ユーザーコード	[ID]	
ユーザー名	[名前]	
製品シリアル番号	[ID]	
プロダクトID	[ID]	
プロダクトID 問い合わせキー	[ID]	
商品構成	[構成]	

※ プロダクトIDの取得や認証が正常にできない場合は、「インターネット設定」ボタンを押して、プロキシ設定を変更してみてください。



(次ページへ続きます)

「ライセンスの認証と解除の設定」画面が表示されます。

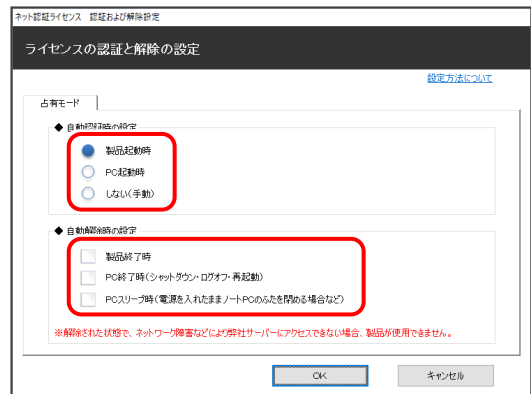
お客様のご利用環境に合わせて、「自動認証時の設定」と「自動解除時の設定」を設定してください。

自動解除は、以下の様な使用方法の時に設定します

事務所内など、常時インターネット接続が可能な環境で使用しており、

- ・ 複数人でライセンスを使用する場合。
- ・ 他のコンピューターでもライセンスを使用する場合。
- ・ 商品構成の異なるプロダクトIDを、都度切り替えて使用する場合。

※ 自動解除の設定は、お客様のご判断でご使用ください。

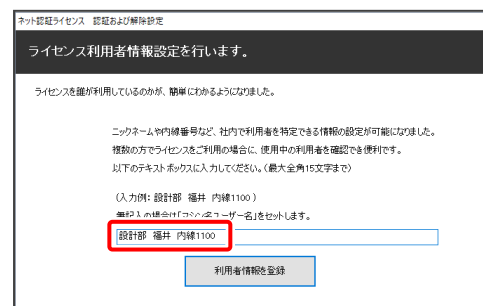


選択を終えたら、[OK] ボタンを押します。



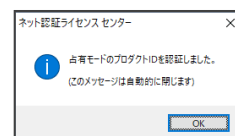
利用者情報を入力して登録してください。

【利用者情報】 は、プロダクトIDの利用状況（誰が使用しているか、どのコンピューターで使用されているか等）を確認する際に利用されます。内線番号やニックネーム、コンピューターの識別名などを入力してください。



ネット認証ライセンス（占有）のプロダクトIDが認証されます。

続いて 次ページ **3.** の手順に進みます。



3. 「管理者ツール」で登録した [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

ユーザー名
福井 太郎

パスワード
●●●●●●●●

SignIn

4. 「管理プログラム」が起動します。
管理プログラムでは、地籍調査をおこなう地区データを管理します。

グループ 地区 ツール 地区検索

すべて (0) 状態 地区名 開始期日 終了期日 作成日時 最終更新日時 備考

未分類 (0)

ごみ箱 (0)

事務交接

事務交接を起動

0% 立会 0% 調査後 0% 閲覧

筆総数: 0

公団CAD 地籍計算CAD

データ名 最終更新日時

データ名 最終更新日時

福井 太郎 [管理者] - Mercury-LAVIS - ヘルプ・FAQ検索



新マシンでの作業

6

データ・設定のリストア（復元）

旧サーバーでバックアップしたMercury-LAVISの「地区」・「設定」・「ユーザー定義帳票」・「相続関係図」のデータを、新パソコンのMercury-LAVISにリストア（復元）します。

6-1 バックアップした地区データをリストア（復元）する

バックアップした地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）をリストア（復元）する手順です。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

以下のいずれかの方法でバックアップします。

6-1. 地区データのリストア

※ Ver.3以前の場合は、この方法で地区データを個別にリストアします。

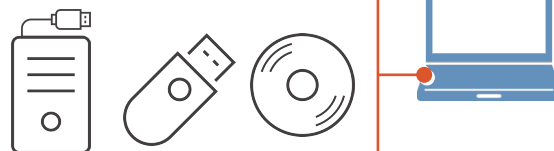
6-2. サーバーツールによる地区データの一括リストア

※ サーバークライアントインストールしている場合は、バックアップツールで一括リストアすることができます。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア（外付けハードディスクなど）を、パソコンにセットします。

- 1 「工事データ」のバックアップファイルを保存したメディア



- 2 管理プログラムを起動して、
[ツール] - [リストア] - [地区] を
クリックします。



③ [地区のリストア] ダイアログが表示されます。

リストア元のフォルダーを指定します。

④ バックアップファイル（拡張子「.lvx」）を指定します。

⑤ リストア先のグループを指定します。

ここでは [バックアップ時のグループ] を選択します。

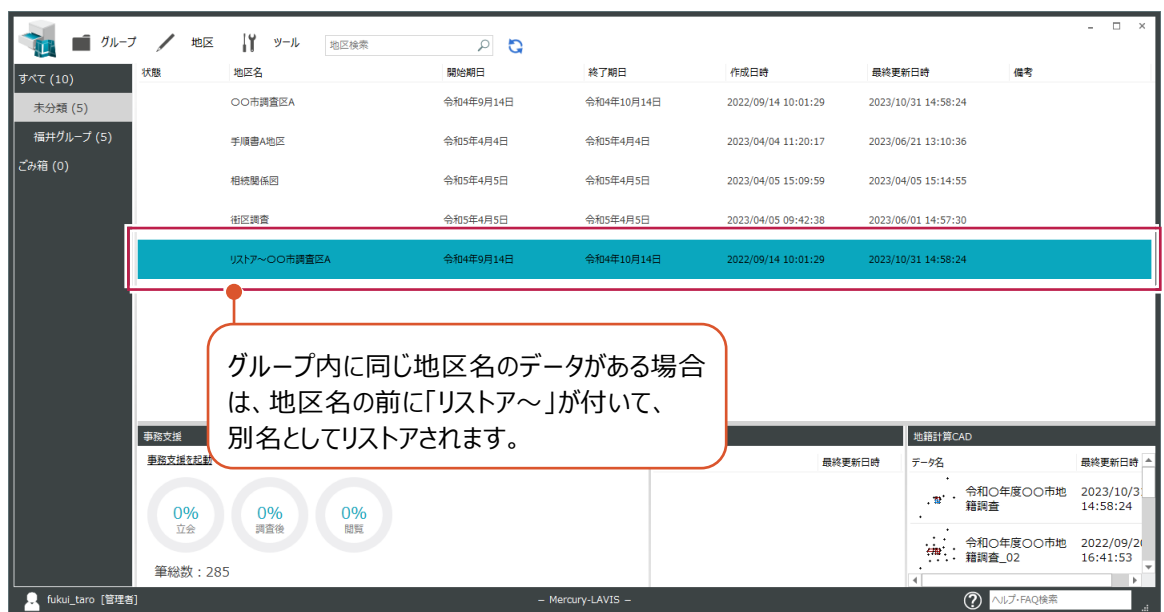
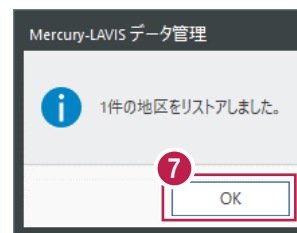
⑥ [リストア] をクリックします。

リストアが開始されます。

※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



⑦ リストアが完了したら、[OK] をクリックします。

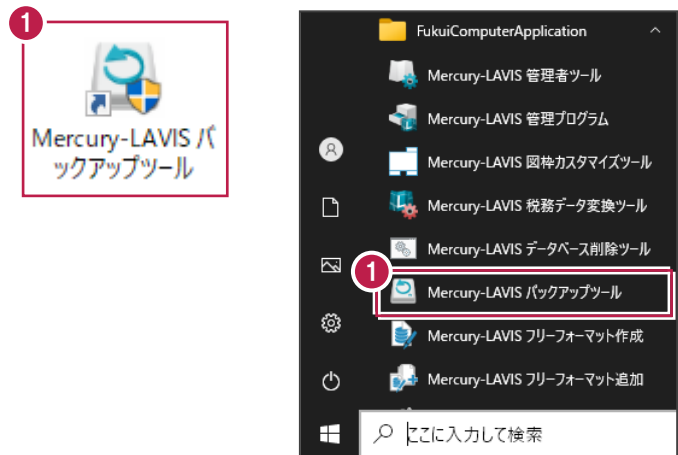


6-2 サーバーツールによる地区データのリストア (サーバクライアントインストールしている場合のみ)

地区データ（事務支援、公図CAD、地籍計算・CAD）を一括リストアします。
バックアップファイルの拡張子は「.lvx」です。

- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS バックアップツール] をダブルクリックします。

または Windows の「スタート」メニューの [FukuiComputerApplication] – [Mercury-LAVIS バックアップツール] をクリックします。

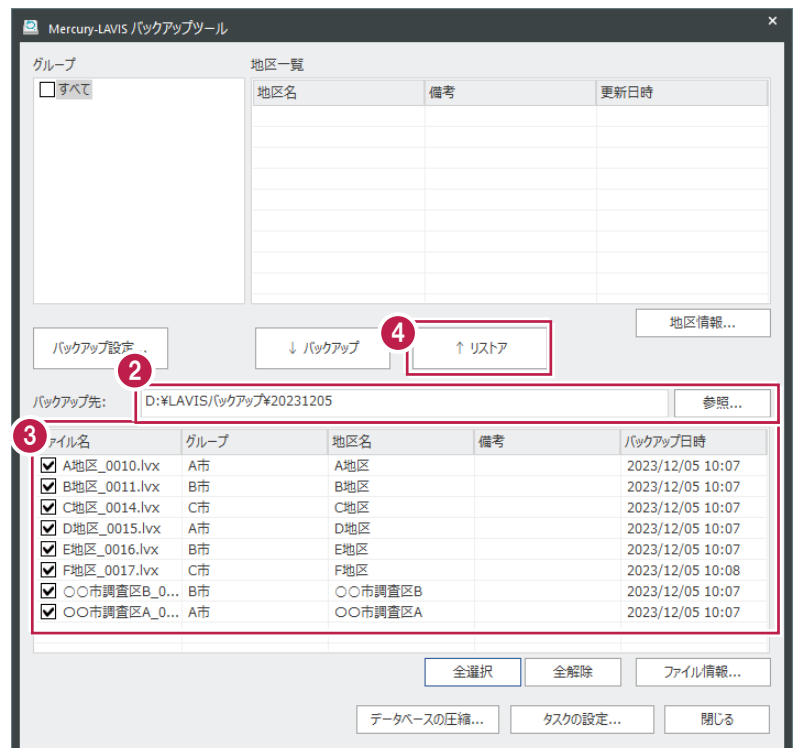


- 2 「バックアップツール」が起動します。
[バックアップ先] に、バックアップ先のドライブ、フォルダ名を入力します。

- 3 リストアする地区のチェックを ON にします。

- 4 [リストア先] に、リストア先のドライブ、フォルダ名を入力します。

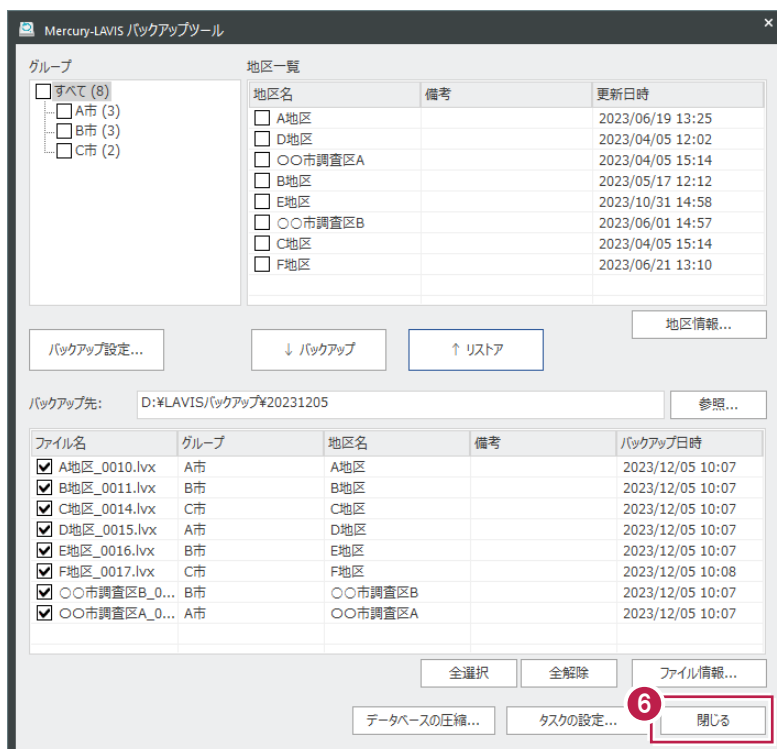
※ リストアするデータによっては、時間がかかる場合があります。



5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-3 全設定のリストア（復元）

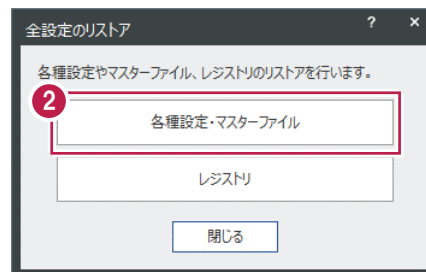
各種設定やマスターファイル、レジストリをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

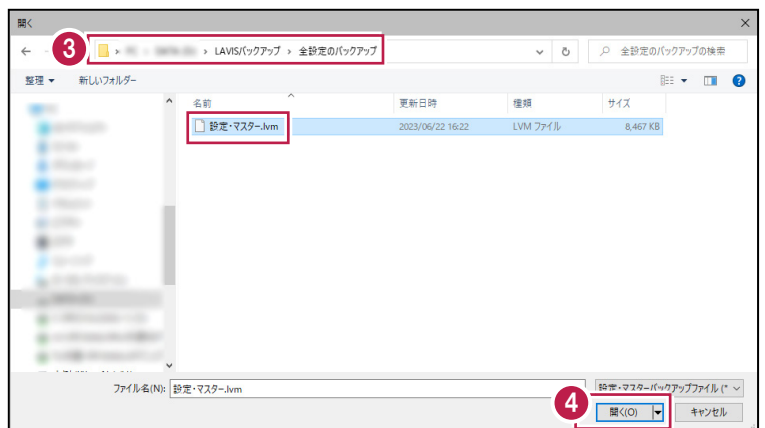
- 1 [ツール] - [リストア] - [全設定] をクリックします。



- 2 [全設定のリストア] ダイアログが表示されます。
[各種設定・マスターファイル] をクリックします。

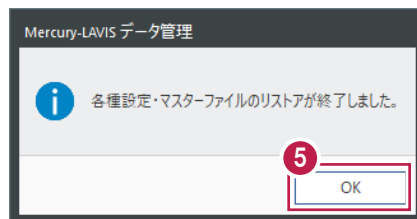


- 3 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

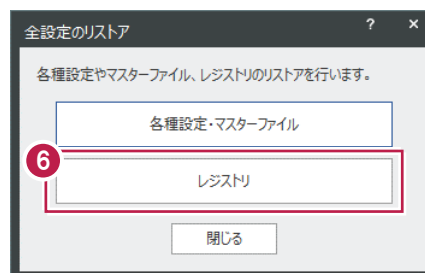


- 4 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

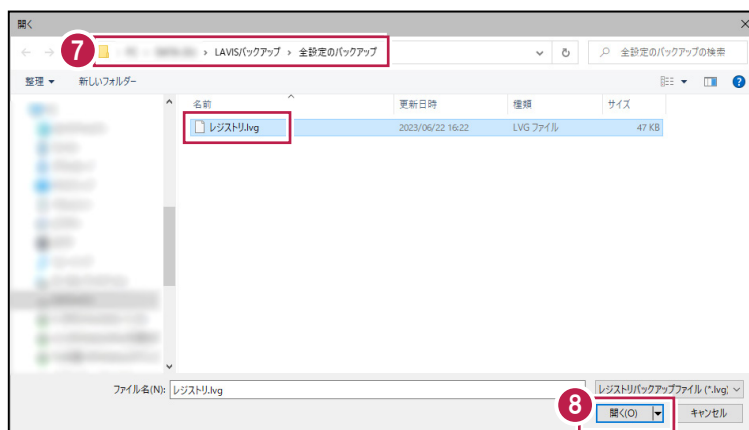
5 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6 [レジストリ] をクリックします。



7 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



8 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

9 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



10 [閉じる] をクリックして、終了します。



6-4 ユーザー定義帳票のリストア（復元）

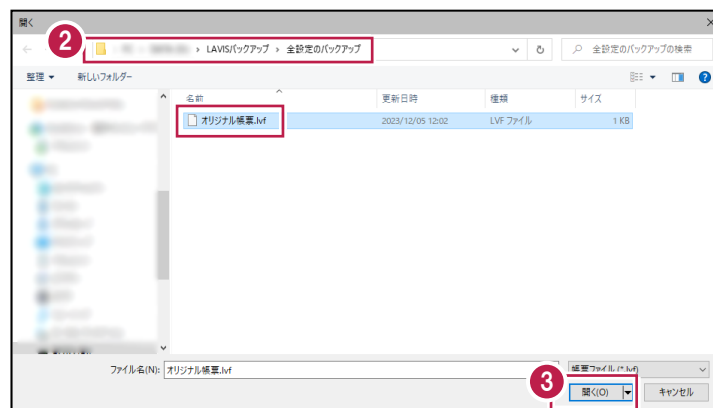
ユーザー定義帳票とカスタマイズ帳票をリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [リストア]
- [ユーザー定義帳票] をクリックします。

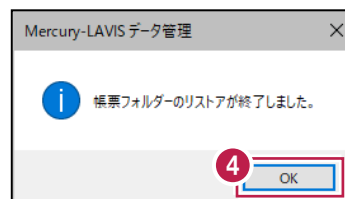


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定
します。



- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。

- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。



6-5 相続関係図のリストア（復元）

「相続関係図プログラム」のデータをリストア（復元）する手順です。

※管理プログラム以外のプログラムは終了しておいてください。

- 1 [ツール] - [相続関係図] - [リストア] をクリックします。

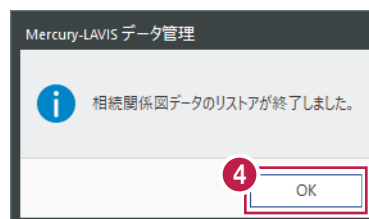


- 2 [開く] ダイアログが表示されます。
バックアップファイルの保存先、ファイル名を指定します。

- 3 [開く] をクリックします。
リストアが開始されます。



- 4 リストアが完了したら、[OK] をクリックします。





新マシンでの作業

7

セキュリティソフトの除外設定

セキュリティソフトに誤認識されてしまうと、起動や保存障害などの不具合が生じることがあります。このような状態を事前に回避するため、弊社プログラムがウイルスの検出対象にならないように、セキュリティソフト側であらかじめ除外設定（検出対象から除外する設定）する手順について解説します。

7-1 除外設定の手順書を開く

- 1 お客様サポートの「インストール/認証・起動」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

※現在Mercury-LAVISをご利用いただいているお客様につきましてはFCアカウント提供を行っております。詳しくは、FCアカウントのお知らせをご参照ください。

お客様の「困った!」を解決し

マニュアル インストール / 認証・起動

初めて操作される方向けに、製品の基本的な操作マニュアルを用意しています。

サポートセンターに日々寄せられるインストール、ネット認証などに関するご質問をご覧いただけます。

- 2 「その他お困りごと」をクリックします。

福井コンピュータ株式会社 Customer Support お客様サポート

お客様サポート
Mercury-LAVIS

マニュアル > インストール / 認証・起動 > よくある質問 > 電話・リモートサポート >
プログラム更新 >

インストール 認証・起動 その他お困りごと

新規インストール・バージョンアップ等 ネット認証ライセンス・プロテクト等 その他システムに関するお困りごと等

インストール

製品の新規セットアップ、バージョンアップなどの手順はこちらをご覧ください。

- ③ 「セキュリティソフトの除外設定について」の「セキュリティソフトの除外設定方法」をクリックします。
内容を確認してください。



- ④ セキュリティソフトの除外設定の手順書が表示されます。
お使いになっているセキュリティソフトに合わせて「Q:」をクリックします。
手順書を参考にして、セキュリティソフトの除外設定をおこなってください。





クライアントでの作業

8

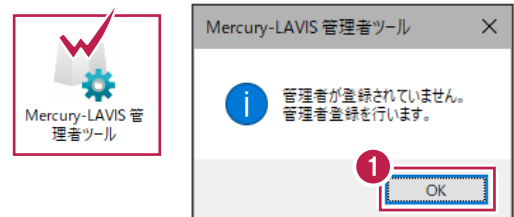
サーバーの参照先変更

クライアントマシンのサーバーの参照先を変更します。
すべてのクライアントマシンで以下の操作をおこなってください。

8-1 クライアントマシンのサーバーの参照先を変更する

サーバーの参照先変更は、すべてのクライアントPCでおこないます。

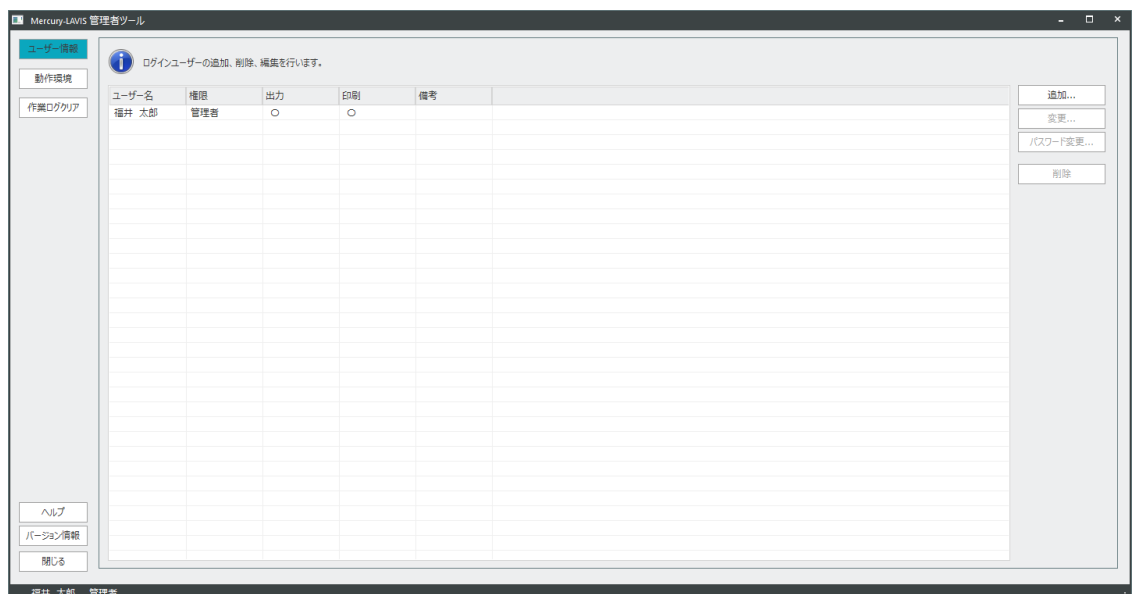
- 1 デスクトップの [Mercury-LAVIS 管理者ツール] のアイコンをダブルクリックして起動します。



- 2 管理者の [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[SignIn] をクリックします。

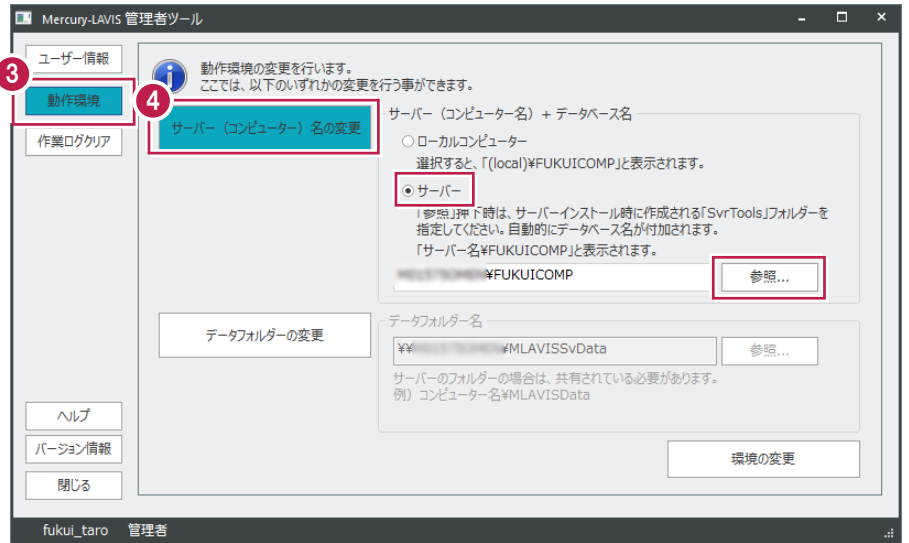


- 3 「管理者ツール」が起動します。



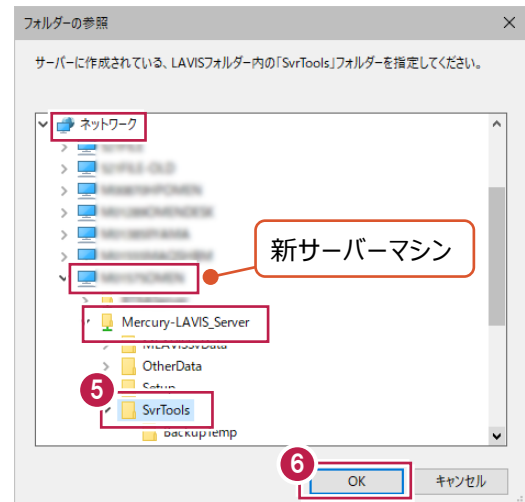
3 [動作環境] をクリックします。

4 [サーバー (コンピューター) 名の変更] で、
[サーバー] を選択し、[参照] をクリックします。

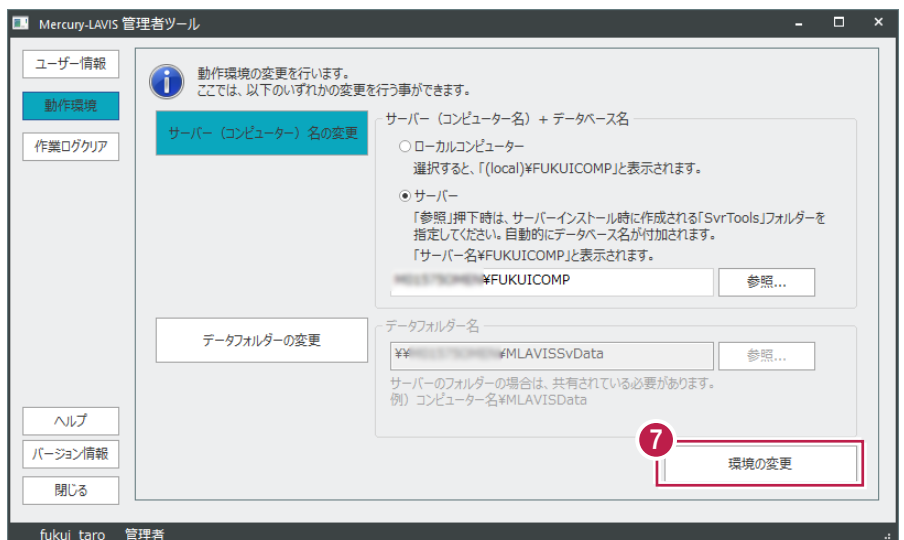


5 「ネットワーク」から新サーバーマシンを参照して、
「Mercury-LAVIS_Server¥SvrTools」
フォルダーを指定します。

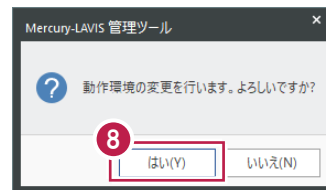
6 [OK] をクリックします。



7 [環境の変更] をクリックします。



8 [はい] をクリックします。



9 [OK] をクリックします。



以上で、クライアントマシンのサーバー参照先変更は完了です。